

# 健康と光線

## 創業90周年を迎えて

この道を信じて進む

医学博士 宇都宮 正範

### はじめに

平素より、サナモアをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

一昨年初頭から、パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症により、様々な影響を受けている方々、困難に直面されている方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

地球上で最強を自負する人類が、このような危機に直面するとは、私自身考えも及ばず、健康でいられることの尊さを感じております。

このような社会情勢ではござ

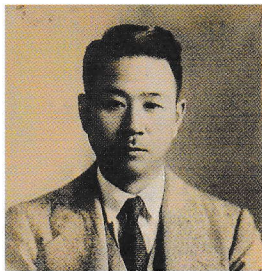
いますが、本年、株式会社東京光線メディカル(前東京光線療法研究所は、創業90周年を無事に迎えることができました。ご愛用者様、治療院様、代理店様、そして今日まで支えてくださった多くの方々には、心より感謝申し上げます。

### 戦争という苦難を越えて

宇都宮義真が、昭和7年に光線療法と出会い、その卓越した効果を目の当たりにしたことで生まれた東京光線療法研究所は、今年卒寿を迎えます。創業者もここまで長く続くとは考えていなかったかもしれません。

発行所  
光線療法  
普及協会  
(年2回発行)

〒153-0063  
東京都目黒区目黒  
1-23-11  
電話 (03)  
5759-6333



宇都宮 義真  
(創業時)

しかしながら、これまでの道のりは、決して順風満帆であった訳でなく、幾多の苦難を乗り越え今日に至りました。なかでも最大の危機は、先の大戦であったと思います。

戦前は今日のような国民皆保険制度が整備されておらず、西洋式の病院医療も、一般の人には十分広まっておりませんでした。そのため、光線療法は、たくさんの方々の治療、健康維持に貢献していました。創業者は、輸入頼みだった光線治療器とカーボンの国産化にいち早く

成功、自身で治療所を開設し、病人の治療にあたることも、寝る間を惜しんで、多くの光線治療師を育成し、光線療法の普及に尽力しました。

とくに昭和13年に揖斐川電気株式会社現イビデン株式会社と協力し開発に成功したサナモアカーボンA、B、C、Dは、脈々と現在まで受け継がれています。

また、昭和17年当時は、有楽町の東京都電気奨励館において、サナモアを陳列販売しており、日本橋大成商会の扱いで、支那、満州、朝鮮、台湾、フィリピン、チリ等に光線治療器を輸出する程でした。さらなる展開を考えていた矢先の昭和19年6月に召集され、夢は一端しぼみかけますが、復員した昭和21年6月から、新たに夢を追いかけ始めることとなります。

晩年、創業者は当時を振り返り、復員した時、相当持っていた預金も封鎖され僅かしか引き出せず、無職で収入もなく、衣食住ともになく、これからどうして生活するか全く当てもなく、

一生でこんなに困ったことはなかった。それから、昭和23年に大井森下町に小さな家を20万円で買って家族全員が東京に集まるまでは血の出る苦しみであったと振り返っております。

その後、会社を株式会社組織とし、二代目宇都宮光明にバトンを渡して天国に旅立ちましたが、サナモアは多くのご愛用者さまに支えられて、今日まで続いているのです。

### まだ見ぬ場所を目指して

平成28年より、会社は私が引き継ぎました。最初に手がけた

2ページへ続く



令和四年 元旦

株式会社東京光線メディカル  
サナモア治療院ソレイユ  
(二十九日から四日迄  
休業とさせていただきます)



1ページから続く

ことは、遅れていたIT化です。様々な運用システムをIT化しましたが、そのことが功を奏して、一昨年、緊急事態宣言が初めて発出され、在宅勤務要請が出された際、速やかに対応ができたことは記憶に新しい出来事です。

さらに、サナモア普及の一環として、全国各地での講演会を再開しました。現地で直接ご愛用者様、代理店様の声を聞くことで、サービスの向上につなげております。

また、光線事業と並び立つ事業の柱として、平成29年に在宅事業部を創設し、訪問看護、訪問リハビリ事業を立ち上げました。これから訪れる超高齢化社会を見すえ必要とされる在宅ケアに関わることで、社会貢献のあり方を模索するために始めた挑戦でした。もちろん、将来的には、在宅での光線治療も視野に入れております。

そして、本年、90周年記念事

業として、サナモア光線療法に鍼治療、リンパマッサージ治療を組み合わせた複合自然療法を始めることをお知らせ致します。現在の治療院ソレイユをベースとして、春先には、装いも新たにサンアモール(San Amore)を開院予定しております。

このように、弊社はこれらの取り組みを通し、まだ見ぬ場所を目指して、日々前進し、21世紀に必要なとされる会社で在りたいと思っております。

### 守るべきもの

創業から九十年、弊社は一貫して創業理念を守り続けて参りましたが、どのような時代であろうとも、「皆様をさらなる健康へ」と謳ったサナモアの理念、使命に変わりはございません。

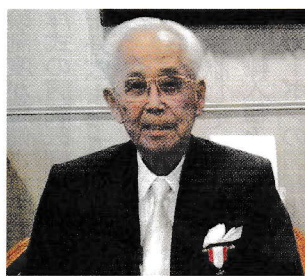
今は一日も早くこの感染症が終息へ向かうことを祈りつつ、これからも、サナモアの啓蒙、普及活動が続ける所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



やよい訪問看護施設  
(旧本社)



現在の本社社屋全景



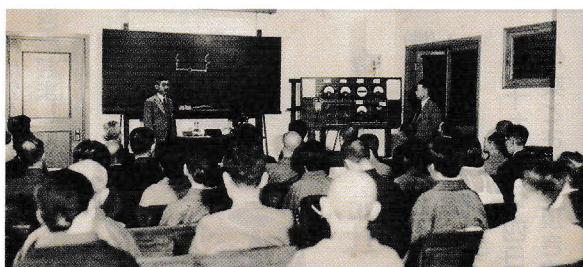
宇都宮 光明  
(二代目)



宇都宮 義真  
(会長時)



業者月例研究会 (昭和10年)



講習会風景 (昭和10年)

(一) 第一号 線 光 行發日五十月一年九和昭

何が病を治すか？  
「病は天が治し、御禮は醫者が貰ふ」之は、今から二千三百年前、リッシャの大醫聖、ヒポクラテスが言つた言葉であります。

我々の体には生れ乍らにして万病を治す偉大な力が、チャント備はつて居るものであります。現代の科學で此の力を自然能率力と申します。

世の中に不治の病の多いのは、余りにも醫藥を信じ過ぎて醫藥万能病と云ふ余病を併發した爲であり、余病を治す必要が生じたのであります。

だから、大家は病つて醫藥を余り

信用しなせ。

「病氣になつても藥なんか飲まぬ、物が完全に生知つて居るで人の一寸年又僅か銅貨大点に染むれば物をも焼き盡してせう。

諸君は、太極病は、自然にして勢を増之を養へばものであり

高價な超特藥の廣告で、

「病氣になつても藥なんか飲まぬ、物が完全に生知つて居るで人の一寸年又僅か銅貨大点に染むれば物をも焼き盡してせう。

諸君は、太極病は、自然にして勢を増之を養へばものであり

高價な超特藥の廣告で、

「病氣になつても藥なんか飲まぬ、物が完全に生知つて居るで人の一寸年又僅か銅貨大点に染むれば物をも焼き盡してせう。

諸君は、太極病は、自然にして勢を増之を養へばものであり

高價な超特藥の廣告で、

「光線」第1号 (昭和9年1月15日発行)  
「健康と光線」の前身にあたる発行紙



宇都宮 正節



謹賀新年  
明けましておめでとうござい  
ます。  
今年の干支は寅です。  
創業90周年を迎えます弊社  
「張り子の虎」とならないよう真  
摯に光線療法の普及に取り組  
んで参ります。  
どうぞ末永くよろしくお願  
い申し上げます。



vol.79 宇都宮 正範

## 第二十六期

サナモア光線治療師  
養成講座を東京にて開講

第二十六期サナモア光線治療  
師養成講座は、七月九日、十日  
の二日間、東京都在住の三名に  
ご参加いただき開講致しました。  
今回、治療師認定を受けられ  
方をご紹介します(写真)。



治療師認定者

中村里夏(東京都)、渡邊真哲  
(東京都)、前田恵都子(東京都)。  
敬称略。

## 第二十七期

サナモア光線治療師  
養成講座のお知らせ

今年度も、サナモア光線治療  
師養成講座を六月に東京で開講  
する予定であります。光線治療  
院の開業をご検討されている方  
や光線療法について勉強したい  
とお考えの方は、(株)東京光線メ  
ディカル(03-5759-63  
33)までお問い合わせくださ  
い。

## 第五十三回

「光と熱研究会」  
関東支部講演会のお知らせ

医療に関連した話題や治験例  
の報告を中心とした研究会で  
す。一般のご愛用者様も是非ご参  
加ください。なお参加は無料です。  
日時：四月二十三日(土)  
午後二時開始

場所：目黒区民センター  
中小企業センター  
五階会議室

## 開講日程

6月17日(金)、18日(土)の二日間

\*会場は目黒区民センター会議室を予定

## 講座内容

- (1) サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (2) 光線治療器のメンテナンス法
- (3) ルーフ式全身多灯照射療法の実践
- (4) 医学総論
- (5) 関係法規・開院のための準備

## 資格取得者の特典

- (1) サナモア販売における代理店資格の取得
- (2) サナモアの名称使用
- (3) 治療院を開業する際の指導
- (4) 「健康と光線」への治験例投稿

申し込みの締め切り：6月10日(金)

## サナモア

## 地方部会報告

昨年は地方での講演会を全て  
中止しましたが、本年は、感  
染症の流行状況を見ながら可能  
な限り開催したいと考えてお  
ります。流動的な部分もござい  
ますが、ご参加の程よろしくお  
願い申し上げます。

## サナモア関西支部講演会

日時：五月二十七日(金)

午後二時開始

会場：神戸市産業振興センター

会議室901

住所：神戸市中央区

東川崎町1-8-4

電話：078-360-3200

交通：JR神戸駅から徒歩5分

## サナモア東北支部講演会

九月に予定しております。

## サナモア九州支部講演会

十月に予定しております。

## 治験例報告

## メニエル病に対する光線療法の効果

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏 報告

TEL 〇七八三三二一三五八

症例 46歳 女性

症状 30代の頃より、めまいの発作を周期的に繰り返し、嘔気、耳鳴、難聴をともなうことも頻回で、耳鼻科にてメニエル病と診断され治療を受けていた。とくに発作が強い時には、周囲がぐるぐる回転し起きていられない程で、とても苦しまれていた。

療法経過 治療は、BDカーボンにて、両側外耳後部を各20分、後頭部10分(集光器使用)照射。ABカーボンにて、腹部、腰部、膝を各10分、足裏20分照射するよう指示し、経過を見ることとした。

治療を開始してから、約半年の間に発作は二回起きたが、以前に比べ軽症で済んだとのこと。

その後、発作が不安で内服を続けていた薬を中止したが、発作は起きず、落ち着いた状態が続いた。

## 治験例報告

## 転倒した際の打撲、

## 激痛に対するサナモアの効果

— 自らの治療体験に基づく報告 —

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏 報告

TEL 〇九二八 五八一〇三九  
五七二一五七三

症例 72歳 女性

症状 今回は私自身の治療体験を報告します。今年の六月上旬のことですが、畳の部屋から、約20cmの段差がある広縁の廊下に足を踏み外して落ちました。

治療を開始し約二年が経過した今日まで、以前のような強い発作は起こらず、夢のよう大变喜んでいる。なお、サナモアを始めてからの変化としては、虚弱体質の改善とともに、気持ち的に明るくなったように感じているとのこと、これからもサナモアを続けたいと話されている。

ンにて、患部を中心に開始。約4時間が経った頃、痛みが治まってきたため入浴し休みましたが、右手を全く使うことができませんでした。翌日、右手全体にかなりの腫れを認めましたが、左手を使って何とか家事をなし、今度はBCカーボンにて、3〜4時間照射しました。

そのように、毎日患部照射を続けた二週間後、ようやく右手を使うことができるようになり、ホッとしたのも束の間、その数日後、今度は右腰部に痛みを自覚。洗濯物を干している最中、

少し背伸びをした際、腰がギクッとなり、その時から激痛に変わり、立っても座ってもいられない状態で寝ている日々が始まりました。

治療は、BCカーボンにて、一日20時間、とにかく照射を続けました。途中、食事は座ってやっとの思いで行い、トイレには痛みを我慢し杖をついて行きました。トイレから戻ると倒れ

込むように横になりましたが、その時の痛みは、もう死んだ方がましと思うくらい強かったです。一日20時間を、まる一か月BCカーボンで治療を続けましたが、時に、照射部位には水疱ができ、皮膚は黒っぽく、剥けたりしました。

そして7月20日、どうしても外出の必要があったため、夫に腰に湿布を貼ってもらい、杖をつきながらタクシーで出かけましたが、その日以来、歩くことに自信が付き、徐々に家事もできるようになりました。ここ数日、ほぼ完治したと思いますが、毎日BCカーボンで、右手全体、腰部を5時間照射しています。

本当に光線様々です。創業者の宇都宮義真先生には、光線治療器を作ってくださいって本当に感謝しております。私のように思っている患者様は、数え切れない程たくさんいらっしゃいます。ありがとうございます。



# 健康と光線

## 創業90周年を迎えて

この道を信じて進む

医学博士 宇都宮 正範

### はじめに

平素より、サナモアをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

一昨年初頭から、パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症により、様々な影響を受けている方々、困難に直面されている方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

地球上で最強を自負する人類が、このような危機に直面するとは、私自身考えも及ばず、健康でいられることの尊さを感じております。

このような社会情勢ではござ

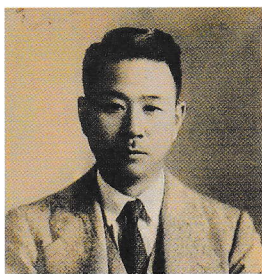
いますが、本年、株式会社東京光線メディカル(前東京光線療法研究所)は、創業90周年を無事に迎えることができました。ご愛用者様、治療院様、代理店様、そして今日まで支えてくださった多くの方々には、心より感謝申し上げます。

### 戦争という苦難を越えて

宇都宮義眞が、昭和7年に光線療法と出会い、その卓越した効果を目の当たりにしたことで生まれた東京光線療法研究所は、今年卒寿を迎えます。創業者もここまで長く続くとは考えていなかったかもしれません。

発行所  
光線療法  
普及協会  
(年2回発行)

〒153-0063  
東京都目黒区目黒  
1-23-11  
電話 (03)  
5759-6333



宇都宮 義眞  
(創業時)

しかしながら、これまでの道のりは、決して順風満帆であった訳でなく、幾多の苦難を乗り越え今日に至りました。なかでも最大の危機は、先の大戦であったと思います。

戦前は今日のような国民皆保険制度が整備されておらず、西洋式の病院医療も、一般の人には十分広まっておりませんでした。そのため、光線療法は、たくさんの方々の治療、健康維持に貢献していました。創業者は、輸入頼みだった光線治療器とカーボンの国産化にいち早く

成功、自身で治療所を開設し、病人の治療にあたるとともに、寝る間を惜しんで、多くの光線治療師を育成し、光線療法の普及に尽力しました。

とくに昭和13年に揖斐川電気株式会社現イビデン株式会社と協力し開発に成功したサナモアカーボンA、B、C、Dは、脈々と現在まで受け継がれています。

また、昭和17年当時は、有楽町の東京都電気奨励館において、サナモアを陳列販売しており、日本橋大成商会の扱いで、支那、満州、朝鮮、台湾、フィリピン、チリ等に光線治療器を輸出する程でした。さらなる展開を考えていた矢先の昭和19年6月に召集され、夢は一端しばみかけますが、復員した昭和21年6月から、新たに夢を追いかけ始めることになりました。

晩年、創業者は当時を振り返り、復員した時、相当持っていた預金も封鎖され僅かしか引き出せず、無職で収入もなく、衣食住ともになく、これからどうして生活するか全く当てもなく、

一生でこんなに困ったことはなかった。それから、昭和23年に大井森下町に小さな家を20万円で買って家族全員が東京に集まるまでは血の出る苦しみであったと振り返っております。

その後、会社を株式会社組織とし、二代目宇都宮光明にバトンを渡して天国に旅立ちましたが、サナモアは多くのご愛用者さまに支えられて、今日まで続いているのです。

### まだ見ぬ場所を目指して

平成28年より、会社は私が引き継ぎました。最初に手がけた

2ページへ続く



令和四年 元旦

株式会社東京光線メディカル  
サナモア治療院ソレイユ  
(二十九日から四日迄  
休業とさせていただきます)